

## こども・若者の意見と計画への反映について

こども・若者及び、子育て当事者からの意見・要望については、以下のとおり内容を整理し、「（仮称）木更津市こども計画」における基本目標に沿って、それぞれの施策へ反映を行います。

### 基本目標1 ライフステージを通じたこども・若者支援

#### 【意見】

- ・市民の声を反映できるように、さまざまな方法で意見を集めてほしい
- ・市の議員さんに子どもや若者の意見を聞いてほしい
- ・こどもが気軽に参加出来て楽しめるワークショップがあるとよい
- ・市に意見を伝えられる機会をつくってほしい
- ・市民みんなで意見を出し合い、みんなで木更津市を作っていける環境を整えてほしい
- ・若者の意見を取り入れた住みやすいまちにしたい
- ・こども・若者が楽しめるイベントや場所をつくってほしい



こども・若者が多様な人格を持った個人として尊重され、自らの生活の場や政策決定の過程において意見を言うことができる、また、反映されるための機会づくりが求められています。こどもの自己選択・自己決定・自己実現を社会全体で後押ししていくための取組が必要です。

計画に反映を行う主な施策：こども・若者を主体とする取組の推進

#### 【意見】

- ・こどもが少ない地域でも友だちを増やせる機会をつくってほしい
- ・自然を生かしたこどもが遊べる場所がほしい
- ・室内で遊べる場所を増やしてほしい
- ・子どもが遊べる公園を増やしてほしい
- ・木更津ならではの場所や歴史を生かしたイベント等を開催してほしい
- ・使われていない建物を活用して、色々な世代で楽しめる場所をつくってほしい



こどもたちの意見からは、特に活動の場に対しての要望や意見が多くありました。年齢や発達の程度に合わせた、遊びの場・交流の機会づくり・地域ならではの特性を生かしたイベントの開催など、こども・若者が多様な体験をできるように意図的・計画的に創出していく必要があります。

計画に反映を行う主な施策：多様な遊び場や体験、活躍できる機会づくり

## 基本目標２ ライフステージ別のこども・若者支援

## 【意見】

- ・広くて利用しやすい子育て支援センターがほしい
- ・市内在住者に限定して、買い物や健康診断時などに２時間程度無料で子どもを預けられる制度がほしい
- ・夏場に遊べる室内遊び場がほしい
- ・広い室内遊び施設をもっと増やしてほしい
- ・もっと工夫された遊具がほしい
- ・木のおもちゃなどが充実した室内での遊び場を増やしてほしい
- ・一時保育が利用しやすい環境に整えてほしい
- ・保育園に預けるほど働いていない場合でも利用可能な支援施設がほしい
- ・乳幼児が遊べる場所を増やしてほしい



【こどもの誕生前から幼児期の支援】義務教育年齢に達するまでこどもの誕生前から幼児期までは特に子育てに係る環境が劇的に変化することから、子どもとその家族に対して、社会的な支援、子育て関連施設の整備・機能強化を含めた一層の強化が求められています。

計画に反映を行う主な施策：

こどもの誕生前から幼児期までのこどもの成長の保障と遊びの充実

## 【意見】

- ・進学や将来に不要な教科は削減または選択できる制度があるとよいと思う
- ・生徒の進路に合わせた学習環境を整える必要がある
- ・社会で役立つスキル（プログラミングやお金の知識など）をもっと教えてほしい
- ・暑い時期の下校時などにスクールバスを導入してほしい
- ・通学路の危険箇所も多く、安全対策を行ってほしい
- ・図書館全体に居心地の良さと交流の場がほしい
- ・塾以外で一人や友達と勉強できる場所がほしい
- ・小学生でもいじめを受けた場合に相談できる場所がほしい
- ・タブレット学習を多くしてほしい



【学童期・思春期】小学生年代から概ね１８歳まで学校生活において、こどもたちは多くの時間を過ごすことになることから、学習のみならず様々な問題に直面します。それゆえに多様な意見が寄せられました。こどもたちそれぞれが望んだ将来に向けて歩めるように、施策により支えていく必要があります。

計画に反映を行う主な施策：すべてのこどもが安心して学ぶことのできる環境づくり

## 【意見】

- ・企業誘致や就業先支援を行ってほしい
- ・女性の在宅ワーク支援事業（資格取得）などを進めてほしい
- ・市外に仕事などで出ていった仲間たちと将来も集まれる場がほしい
- ・市民がキャリア相談や職業体験に取り組める場がほしい
- ・無職や引きこもりの人間でも気軽に行けるような、就職支援の政策をつくってほしい



## 【青年期】概ね18歳から概ね30歳まで

青年期を向かえるにあたっては、社会人へとライフステージが変化することに伴って発生する問題に対しての要望や意見がありました。具体的には職業選択や、キャリア形成、将来的な不安・悩みなどの課題が挙げられます。それらについて和らげ、サポートする体制を構築するなどの施策が求められています。

計画に反映する主な施策：就労支援、雇用と経済的基盤の安定のための取組

## 基本目標3 子育て当事者への支援

## 【意見】

- ・「小1の壁」により、学童に入れず仕事がしにくい状況が多い
- ・子育てしながら働くことが大変
- ・こどもと十分向き合う時間がない
- ・ワーキングマザーが心のゆとりを持てる制度や支援がほしい
- ・物価高や税金負担が家計に響く子育て世代が安心できる制度がほしい
- ・お迎えなどで時短勤務となるため、給料が少ない
- ・1歳～2歳くらいまでの保育園に入っていないこどもを単発で預けられる施設もしくはこどもを預けながら短い期間で働ける職場がほしい
- ・働く子育て世代に対して手厚いサポートをしてほしい



子育て当事者の意見としては、子育てに伴い発生する様々な課題に対して要望や悩みが寄せられました。また、仕事を行いながら育児をしている世帯の増加に伴って時間的な制約などによる子育て時間の不足や、ゆとりの喪失なども課題として挙げられます。

子育て当事者が孤立感や不安感を抱くことなく、地域全体で切れ目なく支援していくための施策が求められます。

計画に反映する主な施策：仕事と子育ての両立支援・共育での推進